



よこすか市議会だより

No.45

令和4年(2022年)
7月30日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会局議事課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議

環境教育常任委員会(馬堀自然教育園)



常任委員会による所管施設等調査

総務常任委員会(株式会社二フコ)



市議会では、さまざまな本市の行政課題を解決する上の参考とするため、市内の所管施設等を調査しています。6月15日、17日に今年度の調査を行いました。



都市整備常任委員会(猿島公園)



民生常任委員会(動物愛護センター)

新型コロナウイルスに関する補正予算等を審議、可決

招集議会

5月13日に招集議会が開かれ、副議長をはじめとする議会内役職の選出、議会運営委員や各常任委員の選任等を行いました。(議長挨拶等を3面に掲載)

6月定例会議会

6月8日から24日までの17日間の期間で、6月定例会議会を開催しました。12人の議員が2日間にわたり一般質問を行い、市長・教育長等と議論を交わしました。(質問項目を3面に掲載)

今回の定例会議会は、令和4年度の一般会計補正予算(第2号)をはじめとした議案13件を審議しました。原油価格や物価高騰に直面する生活者や事業者の支援として、プレミアム付商品券事業や商店街街路灯の電気代に対する助成、新型コロナウイルス感染症対策では、コロナ禍による利用者減に伴う教育・保育施設に対する支援、またテレワーク拠点の整備に対する助成や庁舎内会議室にWEB会議の環境を整備する補正予算議案等があり、各分科会で審査を行いました。本会議で討論の後、採決の結果、全て可決しました。また、請願2件・陳情7件の審査を各常任委員会で行いました。(審査結果を4面に掲載)

このほか地方財政の充実・強化を求める意見書等を国に提出しました。(項目を4面に掲載)

横須賀市議会では、平成29年5月から定例会の回数を年1回とし、議会としての権限を行使し、法的に活動できる期間である「会期」をほぼ1年間とする通年議会を導入しています。今後も新型コロナウイルス感染症対策等、国の政策に対して、スピード感を持って本市に反映できるよう、緊急性のある議案審査を行う場合は臨時議会を開催するなど迅速に対応していきます。

風水害時・震災時避難所の開設及び運営方法の見直しについて確認

近年の急激な気候変動に伴い、大雨や猛烈な台風など、風水害による被害が激甚化しています。また高い確率で発生が危惧されている首都直下地震や南海トラフ地震など巨大地震への対応が急務となっています。そこで、早期避難の体制確立のため、職員による避難所の開設及び運営方法の見直しを行ったことについて、環境教育常任委員会で報告を受けました。

主な質疑

精査し、避難所支援班員として避難所に向かう職員を各4人から大幅に増強しました。今回の避難所運営体制の変更に伴い、各部署の災害活動細部計画や災害対策本部の運営体制についても見直すことを予定しています。災害時の避難所運営は市民の安心安全に深くかわることから、議会でも今後の体制を注視していきます。

風水害時避難所の開設・運営を各部署に任せるとは、市外居住者もいるが、避難所へすぐに向かえるかどうか把握しているか。

風水害は震災と異なりあらかじめ可能性が予測できるため、市外居住者でも避難所に向かうことは可能と考える。また、女性職員が必ずチームに入り、保健師も派遣することになっている。

風水害発生時にあって、地域によつては移動が不便なケースも考えられるが、特に新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者の移動方法はどういうに考えているか。

風水害の発生が予測された時点で、保健所のあつたウエルシティの避難所で受け入れることを発信する。もし違う避難所に来られたら、民間救急車での移動を考えているが、移動が困難になったら、移った場合には、その避難所での対応することも考えなくてはならない。

民間救急車を使用した場合の費用負担は、市で負担する予定。

いざ災害が起きた時に、迅速かつ機能的に稼働するために、避難所運営の訓練を各現場で行っていただきたいと思うが。

風水害時避難所については担当部署がすでに現場を確認している。震災時避難所についても、小中学校の夏休み期間中に、避難所支援班員と危機管理課職員がともに現地を確認する。また地域の避難所運営委員会が実施する訓練にも、参加するよう働きかけていく。

本市と災害協定を結んでいる民間事業者が災害時に有機的な活動ができるよう、役割分担等を再度把握していただく必要があると思うがいかがか。

今後災害体制を見直していく中で、過去の災害を研究し、民間事業者に行っていたことに、しっかりとお願いをしていく。



実際に開設した風水害時避難所の様子(横須賀アリーナ)

地域経済活性化のための プレミアム付商品券事業を審査

コロナ禍からの経済回復が物価高騰などにより阻害されている状況を鑑み、昨年度、一昨年度に続き、プレミアム付商品券の発行についての補正予算が提出されました。販売価格は1冊当たり1万円。利用可能額は12,500円となり、販売方法は事前応募制とし、10月に発売開始となります。発行総額は25億円、発行冊数は20万冊、事業予算は6億8千5百万円です。昨年度は購入限度を一人5冊までとしましたが、抽選に外れて購入出来ない方が多数いたため、より多くの方が購入できるように一人当たり3〜4冊までの購入にするなど、

どのような方法を検討しているとしており、委員会にて審査を行いました。

主な質疑

問 20万冊発行するとなると最終的に残ってしまう表紙と背表紙の大量の廃棄が発生する。環境面を配慮した券の制作を検討する必要があるのではないか。

答 利便性やコスト、安全性に加えて環境面も配慮し検討する。

問 費用削減や利便性向上の観点からプレミアム付商品券を紙だけではなく、キャッシュレスでも対応できる様に検討してみたいかがか。

答 紙以外のキャッシュレス

不妊治療費の市独自助成を 審査

これまで保険適用外とされてきた不妊治療が令和4年度から保険適用となりました。今年度から新たに開始する治療は保険適用となり負担が軽減されますが、先進医療や保険適用外の治療を併用しなければ治療の効果が期待できないケースもあり、これまで以上に自己負担が増えることも見込まれます。

こうした課題に対応するため、本市独自の助成

ス等も検討したが、今回は幅広い年代への利便性を優先して紙で行う事を選択した。いずれはそういった対応も進めていかなくてはならないと思う。

主な質疑

制度を創設し、不妊治療費を助成するための補正予算が提出され、審査しました。予算決算常任委員会においては反対の討論がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

問 各助成額について、先進医療を併用する場合は5万円、先進医療・保険外診療を併用する場合は30万円を超えた部分について10万円を上限とした根拠は。

答 保険適用後の治療内容について県内医療機関に



調査した結果、「先進医療を併用していく」が7割、「保険外診療を導入していく」が3割であった。先進医療に対する補助を行うことで多くの方を支援できると考えました。また、大半の方の先進医療の治療費は5万円以下であったことを踏まえ、上限額は5万円とした。保険外診療は、これまで国と市の補助があつた中でも30万円程度は自己負担をいただいており、それ以上の部分として、先進医療の助成額よりは多い10万円を上限とした。



老木化が進む街路樹

老木化が進む街路樹整備の 指針について確認

「横須賀市街路樹整備ガイドライン」が策定されたことについて、委員会に報告があり、質問を行いました。

市が管理している街路樹の多くは、植樹から40年以上を経過しており、老木化が進んでいます。そのため、根上がりによる通行障害や災害時の倒木など様々な課題が発生

主な質疑

しています。そこで市は、街路樹管理における取組を再構築し、必要などころに予算を行きわたらせる目的で、本ガイドラインを策定しました。この報告を受けて、策定までの議論の経過や植え替え等に関する方針などを確認しました。

問 街路樹管理について定められているマニュアルのようなものはこれまでなかったのか。

答 概念的なものには存在したが、整理したものは今回が初めてである。

観光事業を盛り上げるための 観光施策について審査

ルートミュージアムについての情報発信及び観光の出発地点の役割を

「よこすか近代遺産ミュージアム ティポダイエ邸」が担っています。今回、



ティポダイエ邸シアター

コロナで落ち込んだ観光事業を盛り上げるため、邸内にある体験型ムービーを楽しむシアターについて、そのシアター映像を新たに制作する提案があり、委員会にて審査を行いました。

令和5年はペリーによる黒船来航から170年にあたる年

主な質疑

問 現在1時間に1回15分の上映のみで使用する、残りの45分間は間隔が空いている状況である。新たな映像をより多くの来場客に見て頂くためには上映時間の間隔を再考するなどの工夫が必要ではないか。

答 より多くの方にシアターを観て頂きたいので間隔を短くすることを是非行えるよう検討する。

HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン） 接種費用の助成を審査

HPVワクチン接種は、平成25年6月から積極的な接種勧奨が差し控えられてきましたが、令和

問 黒船来航がテーマであるので、関連する地元の方々に事前に観てもらおう取組をして、来場を促してみてはどうか。

答 試写会などに招待するなどの取組を検討する。

主な質疑

3年11月、厚生労働省はHPVワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことを確認し、令和4年4月から個別の勧奨を実施する旨の指針を示しました。

積極的勧奨の差し控えにより、定期接種の機会を逃し、定期接種の対象年齢を過ぎて自費で接種を受けた方の接種費用を助成するための補正予算

を審査しました。

問 令和4年4月1日時点で本市に住民登録があることが条件となっているが、ワクチン接種を受けるが、既に他都市へ引っ越した人への助成は。他都市に同じ助成制度があれば助成されるのか。

答 他都市で申請をしてい

ただくことになる。厚生労働省の通知に基づくもので、全国統一の方法で実施している。

問 HPVワクチンの積極的勧奨をしていなかった期間の情報提供はどのように行っていたか。

答 市ホームページにおいて、現在積極的勧奨は行っていないが定期接種の対象年齢でワクチン接種を希望する人は無料で接種が受けられる旨の通知と、厚生労働省作成のリーフレットを掲載していた。

問 本ガイドラインの策定にあたり、他都市の事例等を参考にしたのか。

答 県内では藤沢市や川崎市で同様のものを策定しており、このような他都市の事例や国の指針を参考に本ガイドラインを策定した。

問 街路樹にはゼロカーボン推進につながる面もあるが、本ガイドライン策定にあたりどのように検討したのか。

答 「横須賀市みどりの基本計画」でも道路の緑の維持と緑化の推進を掲げている。緑の必要性を十分理解した上で、本ガイドラインではあくまでも歩行者、道路の安全を重視して策定した。

問 街路樹の整備を進めるにあたり、当該地域への説明や意見交換は行っているか。

答 本ガイドラインを活用しつつ、地域の皆様と話をしながら街路樹整備を進めていきたい。

問 美しい桜並木が市内には多くあるなど、人気のスポットも多い。そのような木々を全て一度に植え替えるというのではなく、少しずつ進めていくというこでよいのか。

答 一度に植え替えるのではなく、危険なところや交通の支障になっているところに手を加えながら少しずつ進めていく。多くの方に思い入れを持たれている木々もあるので、本ガイドラインを基に対話をしながら進めていきたい。

令和4年招集議会

招集議会では、議会内役職者の選出と議会運営委員等の選任を行いました。

議長あいさつ

これまで、市議会実行計画「未来への羅針盤2023」に基づき議会改革を進めてきました。市民の皆様にも横須賀市議会の活動を知っていただき、ご理解いただくために今後も「開かれた議会」を目指します。また、新型コロナウイルス感染症の流行から二年半が経過しましたが、Withコロナにおいても、議員一人一人が市民の皆様に寄り添い、二元代表制の一翼として横須賀市の未来のために尽力してまいります。



議長
大野忠之

新副議長あいさつ

今年は経済の再開と福祉の新たな取組で三浦半島の活性化を目指す再スタートの年となります。そのような中、開かれた議会、新たな取組を推進していく議会を目指して微力ながら尽力するとともに、中核市議会議長会会長および神奈川県市議会議長会会長に就任された大野議長を支え、横須賀市議会の取組についても市内外に発信していきたいと考えています。



副議長
永井真人

その他の議会内役職者

- 監査委員 加藤眞道（留任） 石山 満（留任）
- 神奈川県内広域水道企業団議会議員 角井 基
- 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員 関沢敏行

議会による政策立案後の検証を実施

市議会では、市民の負託に応えるため、政策形成能力を強化することで幅広い住民ニーズを市政に反映させる仕組みを構築しています。政策を効果的に実施していくためには、不断の見直しと改善を図っていくことが必要です。このため、議会として協議を行い、制定した政策条例については、検証を行うこととしています。

6月14日、民生常任委員会において、初の議会による政策立案後の検証として、「横須賀市不良な生活環境の解消及び発生の防止を図るための条例（いわゆるごみ屋敷対策条例）」に関して調査し、協議を行いました。委員会では、まず所管部局からいわゆるごみ屋敷への対応状況、条例制定による効果、現状における課題等について報告を聴取し、委員からは堆積者への福祉的支援の詳細や堆積者の背後にある根本的な原因を取り除いていく必要性などについて質疑がありました。その後の委員間協議の結果、現在、所管部局が検討を行っている再発案件における行政手続きを迅速・適正化する条例改正の方向性に同意し、議会としては条例改正による効果及び状況の推移を引き続き注視していくことと決定しました。今後も、議会が適時、適切に検証を行い、より良い政策を実現してまいります。



6月定例議会 一般質問

よこすか 未来会議 小幡沙央里	①図書館の在り方と機能強化について ②「トイレ行政」の推進について ③ごみの減量化について
日本共産党 ねぎしかずこ	①田浦小と長浦小、走水小と馬堀小の統廃合を考えているのか。保護者や子どもたちの意見を十分反映すべき ②青少年の家の廃止方針は考え直す必要があるのでは ③女性幹部が少ない市の職場をジェンダー平等なものに
藤野英明	①市立病院NICUに母乳バンクのドナーミルクを導入しドナーミルクの募集を広く周知する必要性について ②プレコンセプションケアを明確に行政計画に位置づけて部局を超えて取り組んでいく必要性について
小室卓重	①子どもの権利に対する市長及び教育長の所見について ②子どもの権利の周知について ③（仮）南こども園整備における立地適正化計画との関連 ④（仮）南こども園を複合施設へとする考えについて
日本共産党 大村洋子	①今秋稼働予定「くりはま花の国」隣接の株式会社TBMの廃プラリサイクルプラントは地元周知・説明を丁寧に ②中学校プールでの溺水事故は教職員同士の意思疎通不足 ③住民投票で結実した軍転法を起点としたまちづくりを
公明党 二見英一	①市営住宅の共益費について ②共益費徴収に関する調査や意見聴取を行う必要について ③水道管漏水調査や管路更新における新たな取組について ④革新的な技術の新たな導入について
よこすか 未来会議 竹岡 力	①防災無線を活用した熱中症対策について ②児童生徒の熱中症対策について ③中高一貫校設置に向けた検討を終わらせることについて ④総合高校に市民を優先的に入学させる制度創設について
自由民主党 加藤眞道	①社会教育施設、特に図書館の在り方について ②海洋関連産業等の創出、集積に向けた取組について ③海洋プラスチックごみ問題の啓発活動について ④海洋都市横須賀の新たなシンボルについて
公明党 関沢敏行	①マイボトルと給水スポットでゼロカーボンシティ実現を ②ナッジ理論を活用し、がん検診受診率向上と市民啓発を ③給付金を活用した学校給食費の保護者負担支援について
日本共産党 井坂 直	①玉ねぎなど食料品の値上げは深刻だ。学校給食と未就学児の保育・教育施設の給食費の負担軽減を求める ②農業と再生可能エネルギーの地産地消の取組を提案 ③石炭火力発電所建設と事業者との協定締結について
小林伸行	①新港地区における新埠頭について、計画では378億円を充てる内容だが、B/C(費用便益比)は示されるか ②令和2年度の取扱貨物量760万tから2,056万tへ増加するとの想定に基づくが、可能なのか
よこすか 未来会議 堀りょういち	①窓口機能の一本化等による一体的支援の実現について ②市ホームページ等の福祉サービス情報の改善について ③市内不登校児童生徒への学びの機会確保について ④不登校対策における保護者への支援強化について

発言通告の全文はこちら➡



令和4年招集議会・6月定例議会 審議結果

○=賛成、×=反対

賛否が分かれた議案	会 派				無会派					
	自由民主党	よこすか未来会議	公明党	日本共産党	木下義裕	小林伸行	小室卓重	杉田 惺	はまのまさひろ	藤野英明
	12人	12人	7人	3人						
令和4年度横須賀市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
市民活動サポートセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
横須賀市病院事業条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
都市公園条例中改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園管理用建物その他新築工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園管理用建物その他新築電気設備工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
久里浜1丁目公園管理用建物その他新築機械設備工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※その他議案8件については、全会一致で可決または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。 ※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和4年6月24日現在

- 自由民主党

加藤眞道 南まさみ 青木哲正 青木秀介 田辺昭人
松岡和行 大野忠之(議長) 渡辺光一 西郷宗範
山本けんじゅ 田中洋次郎 大貫次郎
- よこすか未来会議

高橋英昭 嘉山淳平 伊関功滋 小幡沙央里 加藤ゆうすけ
工藤昭四郎 竹岡 力 角井 基 永井真人 長谷川昇
葉山なおし 堀りょういち
- 公 明 党

板橋 衛 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志
二見英一 川本 伸
- 日本共産党

大村洋子 ねざしかずこ 井坂 直

請願・陳情

	件 名	結 果
請 願	教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	採択 (意見書案提出)
	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出について	不採択
陳 情	新型コロナウイルスワクチンの小児接種における国会での附帯決議に沿った情報提供を求める決議について	審査終了
	児童相談所における児童の環境改善について	趣旨不了承
	別居・離婚後の共同親権及び共同養育の法整備を求める意見書の提出について	趣旨不了承
	こども家庭庁発足に先立ち児童相談所が子どもの人権を尊重する改善策を早期に実施するための意見書の提出について	趣旨不了承
	特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律の改正を求める意見書の提出について	審査終了
	緊急通報システムの利用対象要件の拡大及び機器等の選定について	審査終了
	認知症による行方不明者の捜索手段の拡充について	趣旨了承

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

意見書

件 名	結 果
教職員定数改善の推進及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について	可決(全会一致)
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決(賛成多数)

**編集後記**

今号より新たな広報広聴会議メンバーの編集でお送りします。横須賀市の政策や事業が、どの様な議論・質疑を経て決定されているのか、分かりやすくお伝えできるようメンバー全員で工夫を凝らしてまいります。ぜひお読みください。

編集：広報広聴会議 (◎=委員長、○=副委員長)
◎高橋英昭／○石山 満／大貫次郎／渡辺光一／松岡和行／田辺昭人／竹岡 力／嘉山淳平／二見英一／井坂 直／小林伸行



令和4年9月定例議会の予定

開催日	会議名
8月26日(金)	議会運営委員会
8月29日(月)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
9月1日(木)	民生常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
9月5日(月)	総務常任委員会(予算決算分科会) 環境教育常任委員会(予算決算分科会)
9月7日(水)	特別委員会(設置された場合に開会)
9月9日(金)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
9月13日(火)	議会運営委員会
9月14日(水)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
9月20日(火)	予算決算分科会(民生、都市整備)
9月21日(水)	予算決算分科会(総務、環境教育)
9月22日(木)	予算決算分科会(民生、都市整備)
9月26日(月)	予算決算分科会(総務、環境教育)
9月30日(金)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
10月4日(火)	議会運営委員会、本会議(14時)

8月30日(火)、9月2日(金)・6日(火)・8日(木)・12日(月)・15日(木)・27日(火)・28日(水)、10月3日(月)は予備日です。
インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。

公共交通の在り方検討協議会

4年間の市議会の実行計画である「未来への羅針盤2023」に基づき、「公共交通の在り方検討協議会」を設置し、政策提言に向けた検討を行っています。

人口減少・少子高齢化が急速に進行する本市においては、高台地域や鉄道路線の無い地域などの市民の移動手段をどう確保するか、又、コロナ禍の影響による公共交通の利用の変化、さらには経済活性化を効果的に図る交通網体系をどのように構築していくか等、新時代の横須賀のまちづくりを考える際には公共交通は喫緊の課題と捉えています。

これらの課題やニーズを含めた公共交通の将来像を描き、具体化を図るための政策を現在議論しています。最終的には議会からの政策提言としてまとめ、市長に提出する予定です。